



Smiles for the Public

証券コード6809

TOA株式会社

会社説明会

2022年9月7日



この音、聞いたことはありませんか？



こんなところで活躍しています

教育施設



ボックス
スピーカー

オフィス・会議室



写真：「point 0 marunouchi」



ワイヤレス
マイク

駅・交通インフラ



ワイドホーン
スピーカー

工場・倉庫



ネットワーク
カメラ

商業施設



天井埋込型
スピーカー

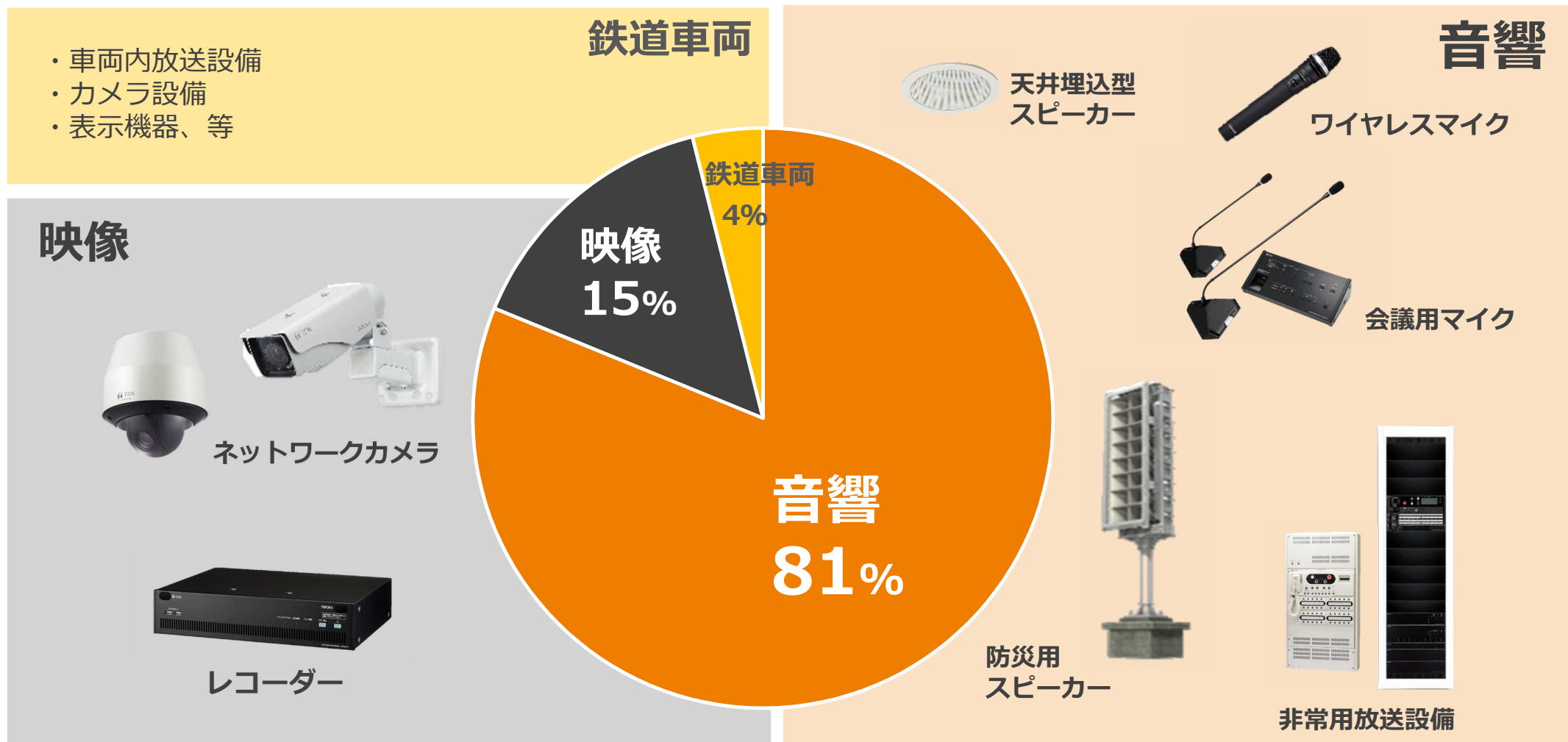
減災・防災



防災用
スピーカー

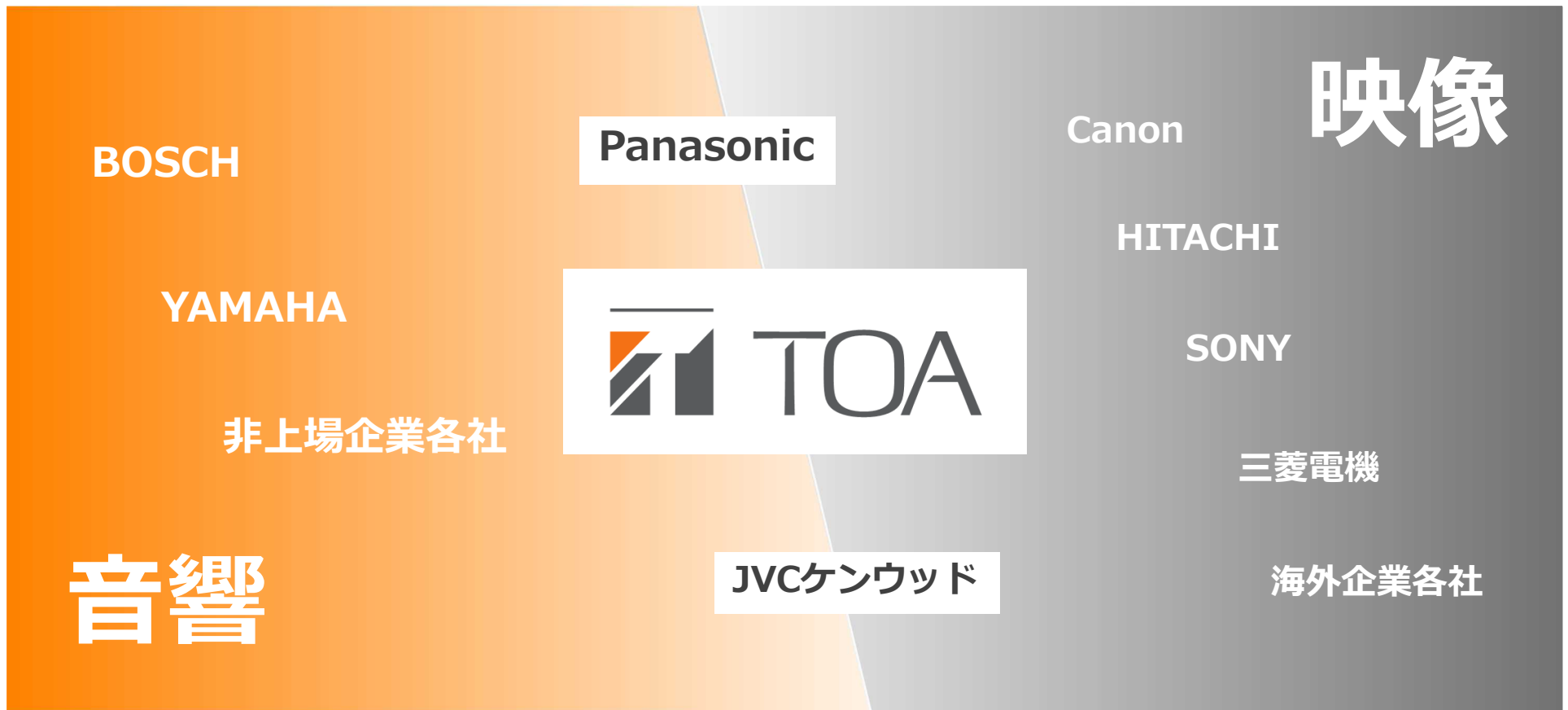
製品分野別 売上の割合

* 2022年3月期 期末 売上実績



競合環境

大手電機メーカーが揃うなか、TOAは業務用音響・映像の専門性を追求



創業以来、暮らしに欠かせない「音」をお届けしている会社です

※2022年3月31日時点

2024年で



創業**90**周年

国内グループ



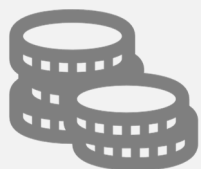
36拠点

海外グループ



27拠点

資本金



52億79百万円

連結売上高



408億64百万円

グループ従業員数



連結**3,235**名

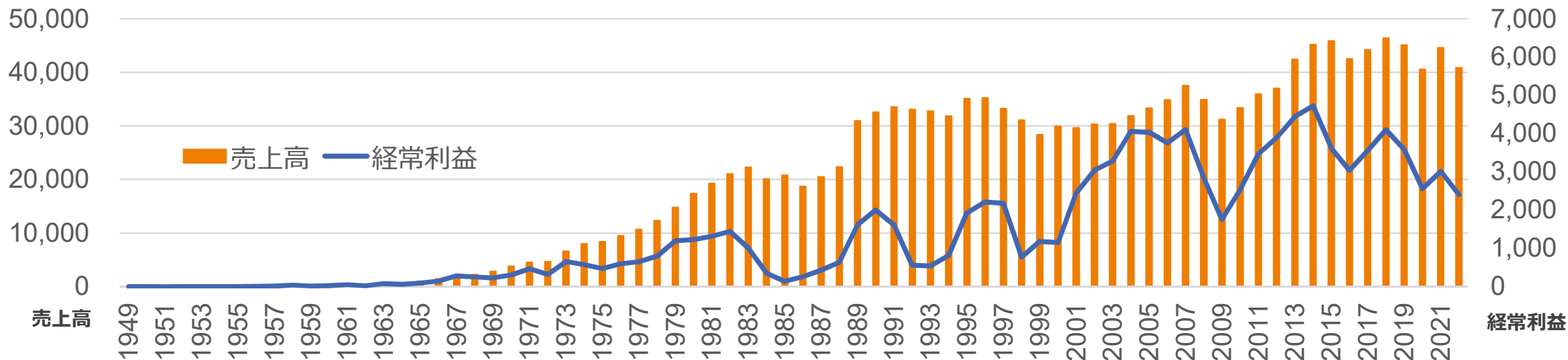
数々の「世界初」「日本初」を生み出しています



1954年 世界初「電気メガホン」



(単位：百万円)

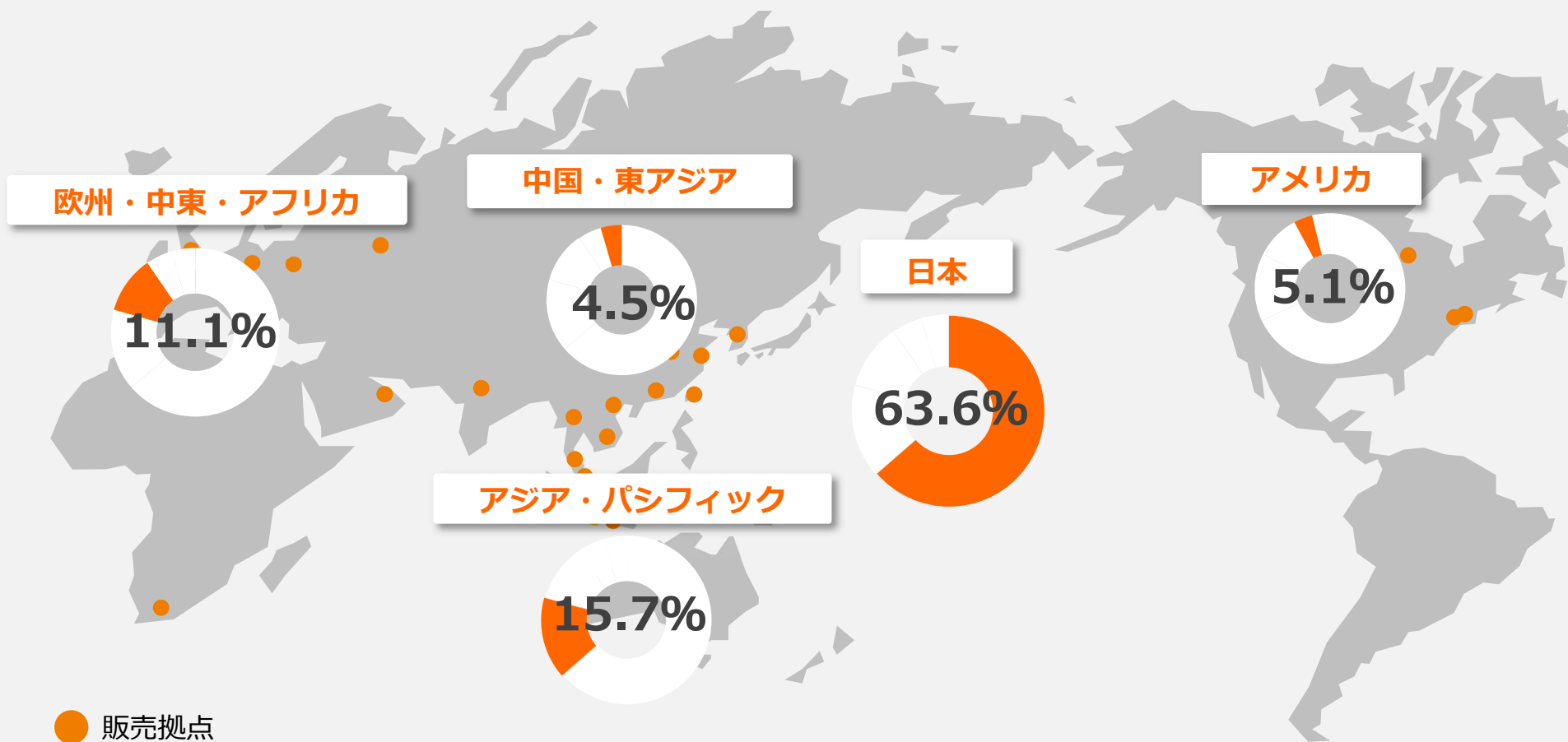


※1989年より連結業績

仕向け先別 売上の割合

世界5セグメント、27拠点で活動展開

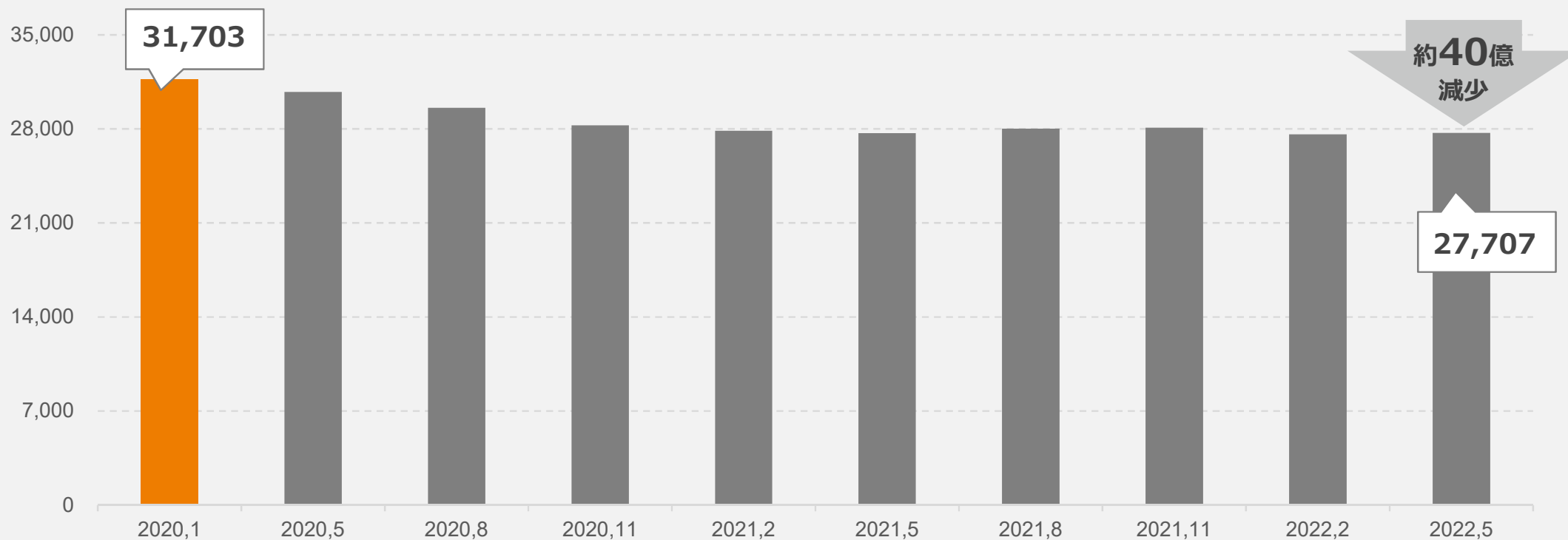
主要取引先 120カ国以上 ※2022年3月期 期末



新型コロナウイルスによる影響 ー国内市場規模の推移ー

(単位：百万円)

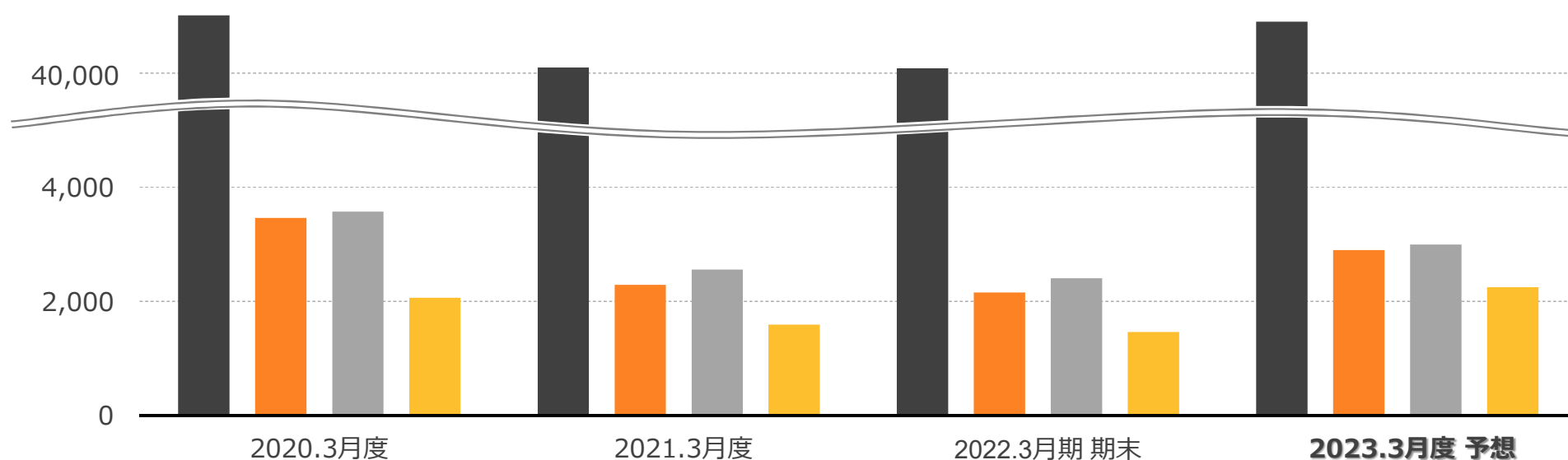
産業用電子機器 国内出荷実績 (業務用音声装置)



出所：JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会による統計結果
<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=1166&ca=14>

業績予想（連結）

(単位：百万円) 50,000



■ 売上高	45,068	40,575	40,864	44,000 (7.7%)
■ 営業利益	3,465	2,293	2,159	2,900 (34.3%)
■ 経常利益	3,577	2,558	2,407	3,000 (24.6%)
■ 最終利益 (注)	2,065	1,596	1,466	2,250 (53.4%)

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益

※%表示は前年比増減率

中期経営基本計画について (2022年3月期-2026年3月期)

TOAの企業価値

TOAの企業価値

Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —

「笑顔」とは、単なる満足を超え、人々に「安心」「信頼」「感動」という価値を提供することで得られるもの。それを当社は、人々の集まりである「社会」に対して実現いたします。

経営ビジョン2030

Dr. Sound

－社会の音を良くするプロフェッショナル集団－になる



音のコンサルティング

- ・課題の特定、解決、改善
- ・音を使ったお困りごとの解決
- ・継続的な価値の提供

音のみえる化

- ・音の可能性の追求
- ・音と効果の相関性の実証

中期経営基本計画（2022年3月期-2026年3月期）概要

前半期

2022年3月期～2023年3月期

- ・ 収益力と競争力の向上
- ・ 成長基盤の構築
- ・ 新たな音の価値の探索と創造

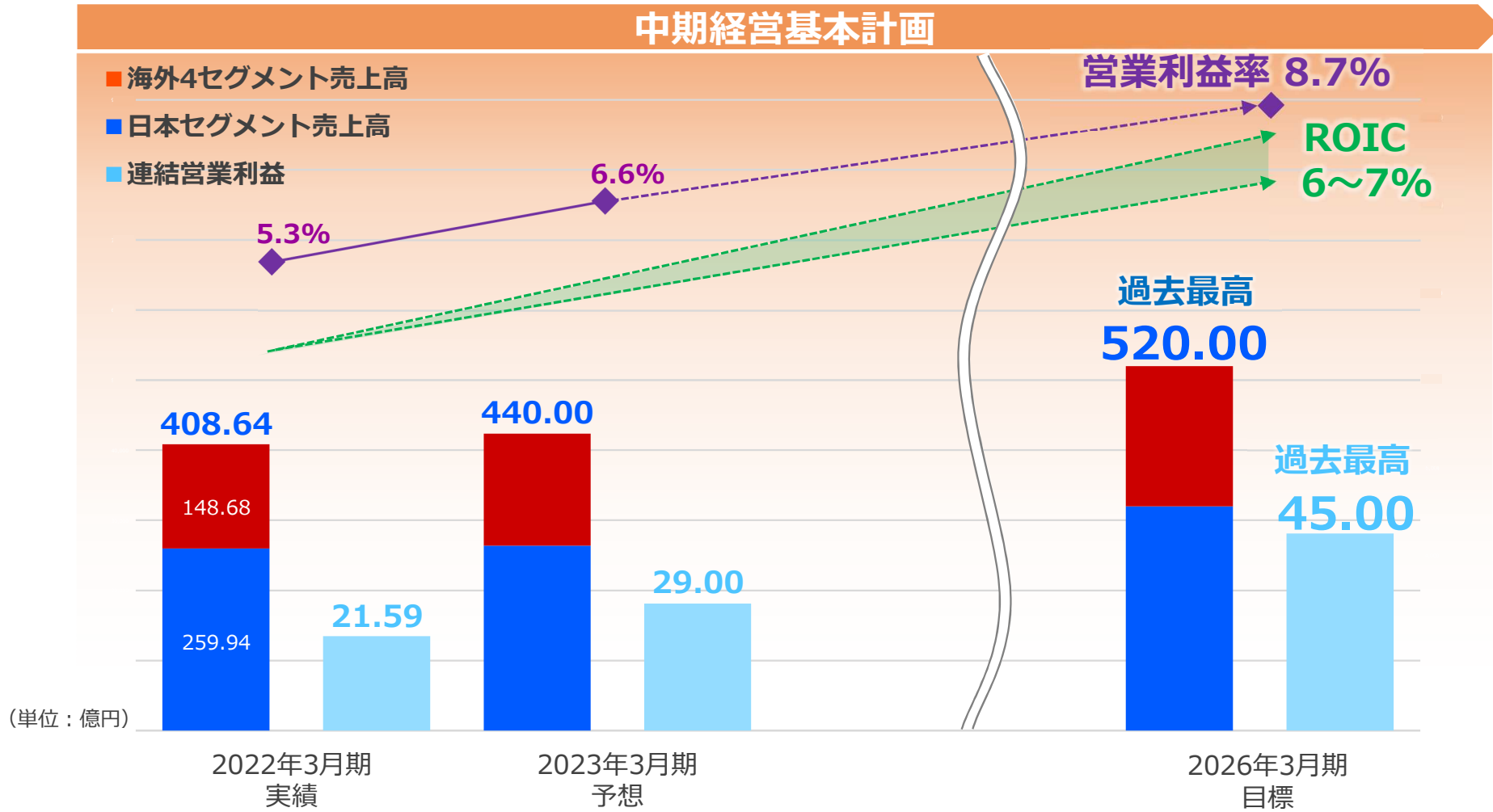
後半期

2024年3月期～2026年3月期

- ・ 付加価値の拡大
- ・ 強いマーケット基盤の構築
- ・ 新たな音の価値への投資
- ・ 価値を提供するマーケットの創造

一連の取組みを効率的かつ着実に推進するため、ビジネスのデジタルシフト推進と人材育成に注力

中期経営基本計画 概要



株主還元施策の強化

2023年3月期より年間配当額40円を予定

現行配当方針

安定配当 20 円 に
業績連動を加味し連結配当性向 35% を目安に決定

変更内容

安定配当 **40** 円 に
業績連動を加味し連結配当性向 **45%** を目安に決定

※中間配当 20円、期末配当 20円

TOAのサステナビリティ

社会課題解決に向けた新たな価値をお客さまと共に生み出し続け
「社会の音を良くする」活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献

企業価値

Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —

経営ビジョン2030

Dr. Sound

— 社会の音を良くするプロフェッショナル集団 — になる

企業目的

プロの厳しい基準にかなう高い専門性を追求し、徹底した市場細分化と創造的な商品開発により、人間社会の<音によるコミュニケーション>に貢献する国際企業をめざす

経営基本方針

経営基本方針「三つの安心」

- 一、顧客が安心して使用できる商品をつくる。
- 一、取引先が安心して取引きできるようにする。
- 一、従業員が安心して働けるようにする。

行動規範

TOAグループ
企業倫理規範

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

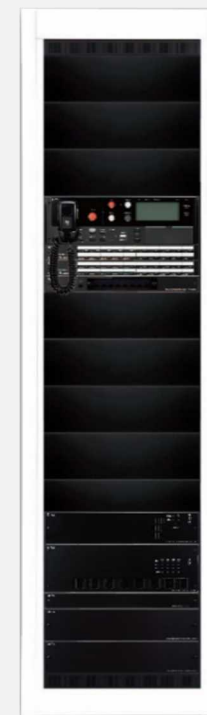


16 平和と公正を
すべての人に



「誰一人取り残さない」ために 一屋内で避難を誘導する音

シェアNo.1 TOAの主力商品 非常用放送設備



ラック型非常用放送設備
FS-2500シリーズ

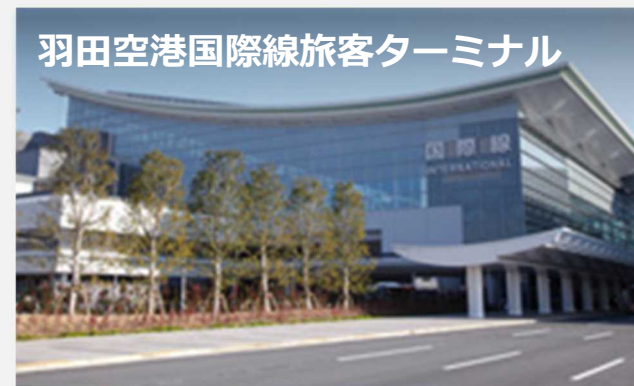


壁掛型非常用放送設備
FS-1000シリーズ

火災事故を機に、1969年にTOAが日本で初めて開発した商品

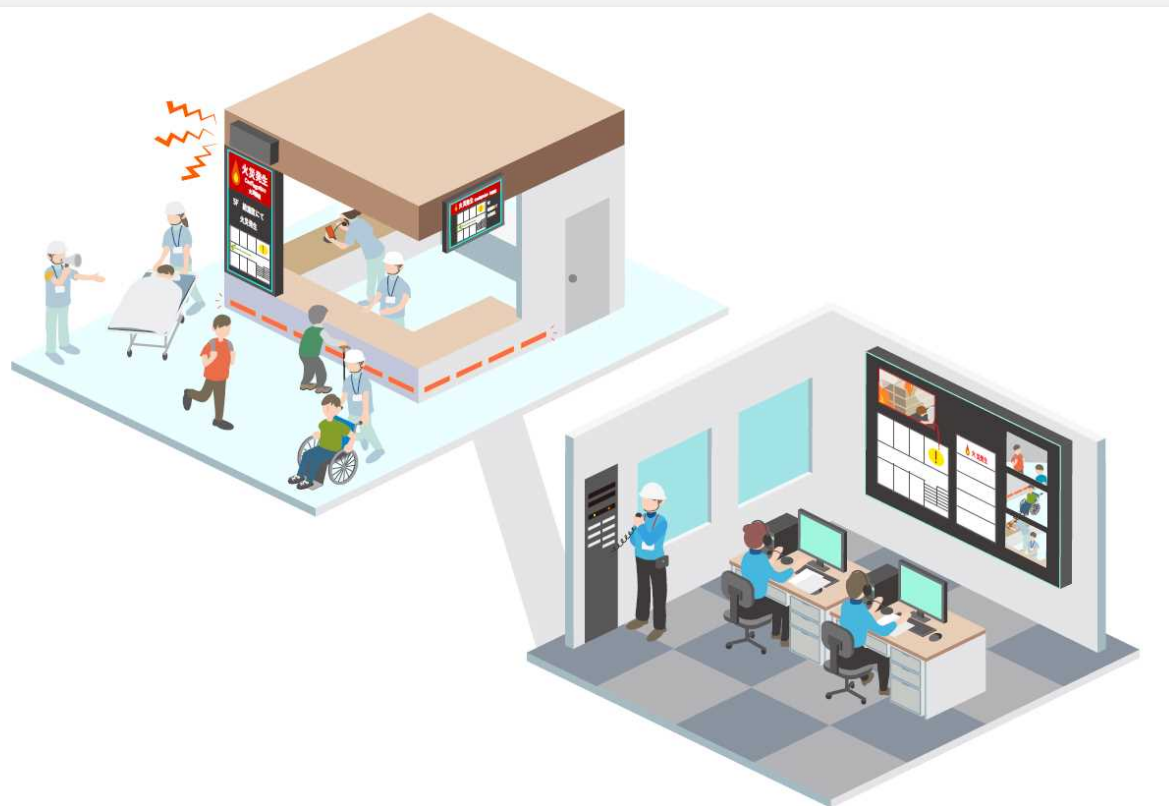
官公庁をはじめ全国の建築物に納入 「音」で安全・安心に貢献

事例
紹介



誰一人取り残さない、避難誘導の実現へ

カメラ、サイネージ等と連動した避難誘導システムで
これからの避難誘導の在り方を提案



「人にやさしい避難誘導」

警報音だけでなく、視覚情報でも避難を誘導するほか、カメラと連動することでエリアごとの状況に応じた情報提供を行います。

また、スマートデバイスでもエリアごとの状況や要避難者の人数を映像で確認することができるため車いすやご高齢の方といった避難困難者のサポートなど状況に応じた素早い対応が可能です。

避難をする人にも、避難を誘導する人にも配慮したシステムで、安全・安心な街づくりに貢献していきます。

「誰一人取り残さない」ために —屋外で危険を報せる音—

一人でも多くの人々の命を“音”で守りたい「防災用スピーカー」



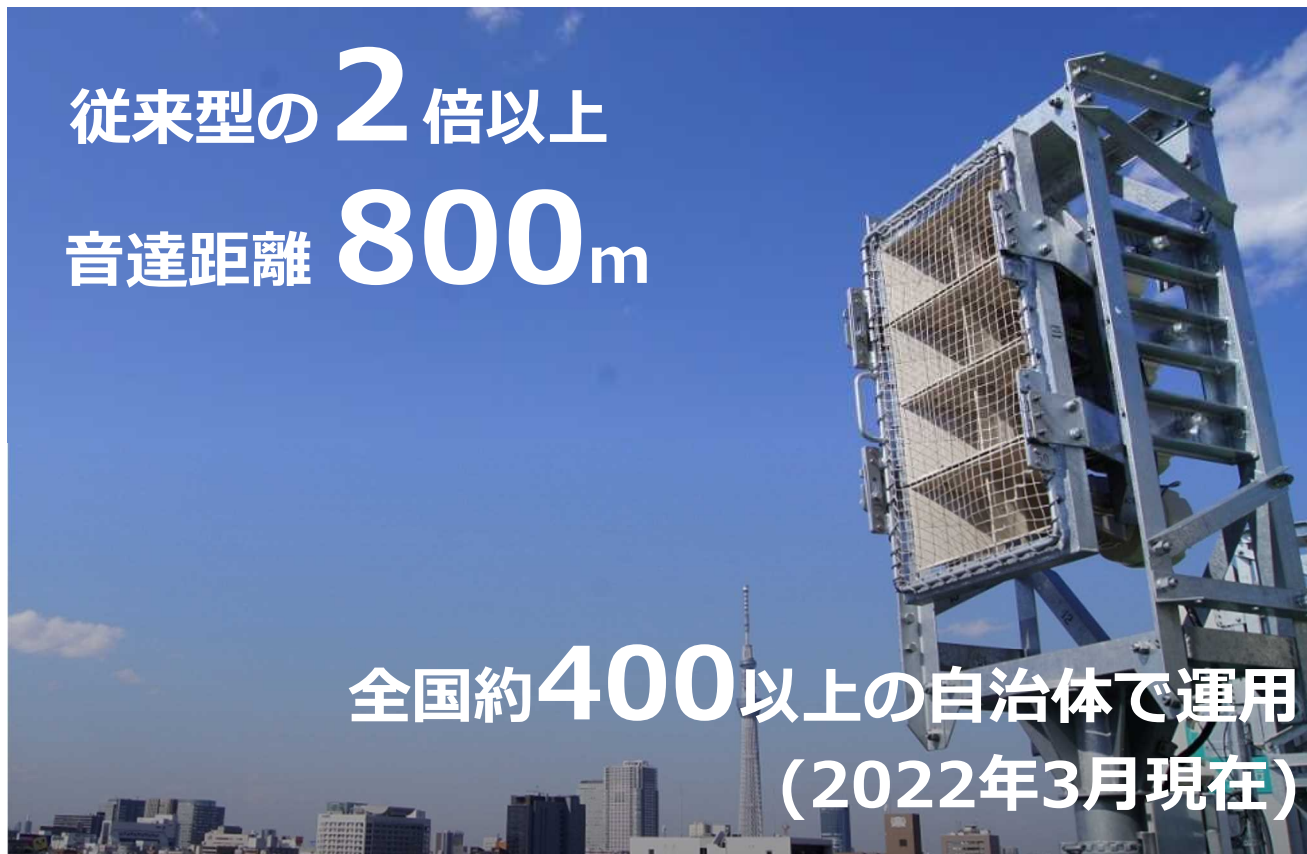
防災用スピーカー
(従来型)



東日本大震災の津波で倒壊した
防災無線屋外子局

従来型の2倍以上
音達距離 **800m**

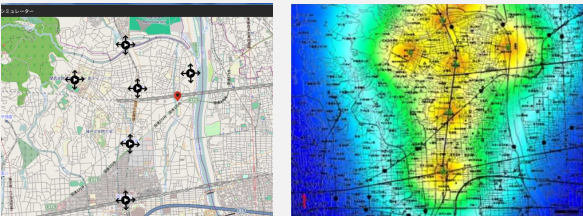
全国約**400**以上の自治体で運用
(2022年3月現在)



津波被害の及ばない建物屋上等からでも、遠くまではっきりと防災放送を届ける

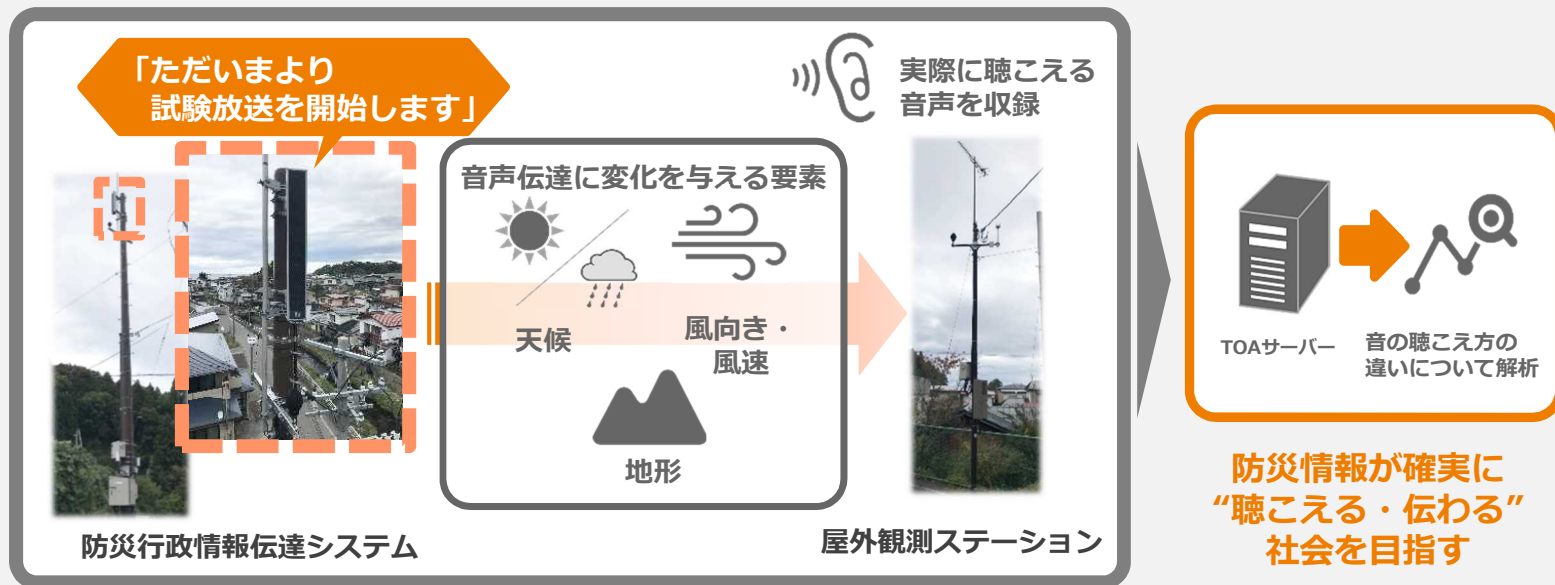
地形に合わせた音づくりで、「聴こえない」をゼロに

スピーカーの鳴動テストの様子



独自の音響シミュレーション

～防災用屋外拡声の長期観測【青森県深浦町】～



「音が聴こえないエリア」を無くすため、深浦町と共同で進める実証実験。深浦町が運用している「防災行政情報伝達システム」より試験音を放送し、実際に現地で聞こえる音声の収録と、風向き・風速の観測を実施。収集したデータから地形や気象条件などによって生じる音の聴こえ方の違いについてAI解析等を行う。

温暖化により多発する災害への対応

11 住み続けられる
まちづくりを



豪雨災害の発生による河川の氾濫や土砂災害を、いち早く報せる

しら

河川監視カメラ



電気や通信インフラの
整わない条件下でも利用可能

夜間の水位上昇も
赤外線カメラ機能で監視

昼間



夜間



水位上昇を
遠隔で映像確認



スピーカー搭載ドローン

空からの情報発信にも着手

2021年より異業種企業と共に
地元神戸市に協力し、
上空からの外出自粛呼び掛けを実施



国産ドローンを活用した実証実験を開始

災害大国日本の防災ノウハウ、海外へ

インドネシアへ屋外情報伝達システムを納入

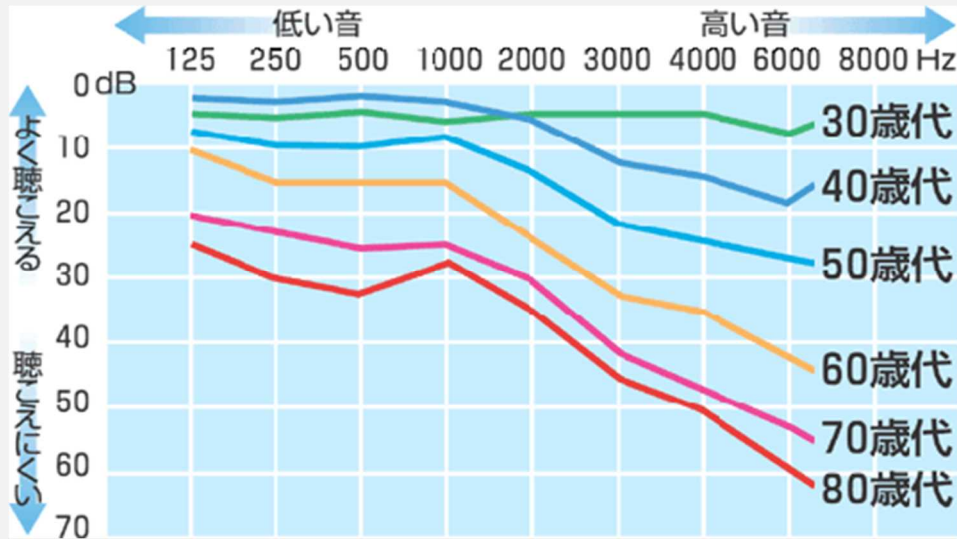


災害に強い街づくり、日本から世界へ
非常時の情報伝達を担ってきた企業としての使命

誰もが暮らしやすい社会のために
「社会の音を良くする」

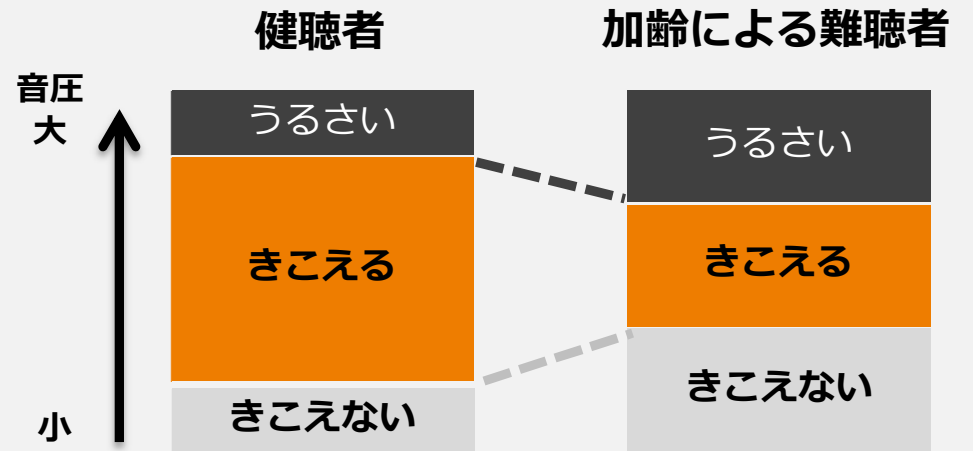
駅や役所で、アナウンスが聞き取りづらいことはありませんか？

加齢に伴う聴力低下



とくに高い音が聞き取りづらくなる

音の大きさに対する調整機能の低下



小さな音は聞き取りづらく、大きな音はうるさく感じるように

実証実験の結果

音色に変化を加えることで、加齢性難聴の方の言葉の聞き間違いが減るだけでなく、健聴者にも聞き取りやすい音を届けられることが判明

-社会の音を良くする- 誰もが聴き取りやすい音を



「音声明瞭化技術」 都内地下鉄でも実用化

“なんとなく聞こえる放送”から、“ちゃんと聴いて理解できる放送”へ



「年齢とともに音が聴き取りづらくなった」
「雑踏の中で放送がよく聴こえない」

聴き手に合わせた音色の加工と、
環境に合わせた音響調整で
雑踏の中でも聴き取りやすい音を実現

平時も非常時も「いつでも、誰もが情報を得ることのできる」街づくりを

-社会の音を良くする- 良質な教育環境を音でサポート

授業中の音声の聴き取りやすさ、学習効果に影響



とくに英語学習の場合、細かな発音を聴き取り、習得するためにはクリアで聴き取りやすい音声が必要

海外では既に
教室内拡声のガイドラインも設定

TOA

音と学習効果の関係について国内で実証実験を実施
その結果を国際論文誌に公開し、
国内でも学会等において成果発表を開始

教室内の音環境の重要性 教育現場に広く提唱、誰もが質の高い教育を受けられる社会に貢献

-社会の音を良くする- コロナ禍で顕著になった「音のお困りごと」

「声が聞き取りづらい」の解決策、グローバルに展開



パーティション取付型 会話補助システム「smoowa」

パーティション越しの会話を聞き取りやすくサポートするシステム
コンパクトかつマグネットでの簡単取付が可能
店舗のレジや医療機関の窓口などあらゆるシーンで、
ストレスフリーなコミュニケーションを実現



- 国内** 役所窓口や、病院、薬局、
大手スーパーにも納入
- 海外** 駅のチケットカウンターや病院の窓口、
オフィスビルの受付などにも納入

従業員が挑戦できる、環境づくり

「自分たちに何ができるのか」
常に問題提起をし、自ら挑戦できる環境づくり



開発アイデア/販促アイデア
コンテストの開催



“失敗体験”と“課題”を共有する
意見交換会

Pick UP



従業員発“コロナ禍緊急開発プロジェクト”から誕生した
「パーティション取付型 会話補助システム」



「パーティション取付型 会話補助システム」
開発段階の様子

すべての原動力は、人

当社のすべての原動力は、人です。

88年間のTOAの商品開発のあゆみは全て、従業員の

「自分たちにできることは何か」「音で解決できないのか」という強い思いから始まりました。

世界が大きく変動している今こそ、音のお困りごとを解決する「音のプロ集団」として改めて私たちが社会のためにできることを進めていきます。

一緒に「社会の音」を良くしていきませんか？

ぜひ、これからも応援をよろしくお願いいたします！

